

雪がた

—— 豊科病院だより ——

豊科病院広報誌

平成26年7月1日 発行

発行者 豊科病院広報文化委員会
〒399-8205

長野県安曇野市豊科5777-1

URL <http://shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

精神保健福祉法の改正

平成25年6月13日、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部を改正する法律案が国会で可決。精神保健福祉法が改正され、平成26年4月1日、精神障害者の地域生活への移行を推進するための改正精神保健福祉法が施行されました。主な改正点は、

- ①精神障害者の医療の提供を確保するための指針「厚生労働大臣告示」の策定
- ②保護者制度の廃止
- ③医療保護入院の見直し
- ④精神医療審査会に関する見直し

です。ここでは②③について詳しくふれたいと思います。

○保護者制度の廃止

保護者制度は明治33年施行の精神病患者監護法に端を発します。精神病患者を自宅に監禁す

る私宅監置（いわゆる座敷牢）を合法化し、「監護義務者」として家族に監護を義務づけるものとした。

昭和25年に精神衛生法が制定され、私宅監置制度は廃止されましたが、保護義務者となった家族には、適切に医療機関につなげる責務や自傷他害監督義務が課せられました。その後、精神衛生法から精神保健法、精神保健福祉法と改正される中で、「保護義務者」は「保護者」に名称が変わり、自傷他害監督義務規定等は削除されましたが、一人の保護者のみが様々な義務を負う制度が続いてきました。

平成26年3月31日までは、保護者の義務として精神障害者に治療を受けさせること「精神障害者の財産上の利益を保護すること」「診断が正しく行われるよう医師に協力すること」「医師の指示に従うこと」「回復した措

置入院者等を引き取ること」が課されてきました。こうした規定は保護者となる家族にとって負担が大きく、家族の高齢化等に伴い、義務の履行が難しくなってきたおり、今回これらの義務は全面的に削除されました。退院請求権に係る規定は存置)

○医療保護入院の見直し

これまでは医療保護入院の際には保護者の同意が必要とされてきましたが、4月以降は家族等配偶者、親権者、扶養義務者、後見人又は保佐人。該当者がいない場合等は、市町村長が同意の判断を行う(のうちのいずれかの者の同意で入院できるようになりました。

また、退院後生活環境相談員(医療保護入院者の退院後の生活環境に関する相談及び指導を行う者)の設置が医療機関に義務づけられました。相談員となる者としては、精神保健福祉士

等が想定されています。担当の退院後生活環境相談員は入院から7日以内に決定され、相談の体制が作られます。

更に、医療機関は、必要に応じ地域援助事業者を紹介するよう努めることになりました。退院に向けた地域との連携を図る目的で設けられた規定で、地域援助事業者の範囲としては、相談支援事業所の相談支援専門員や、居宅介護支援事業所の介護支援専門員が考えられています。

このように、退院促進のための体制整備が医療機関に義務づけられることとなり、医療機関は医療保護入院者退院支援委員会を設け、推定される入院期間を超える場合に院内で審議が行われることとなります。

(長野県精神保健福祉センター発行「こころのたより88号」より一部転載)

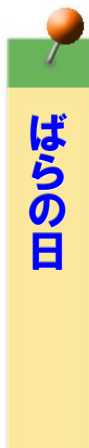


今回の改正で重要なのは、可能な限り早期治療、早期退院できる仕組みを目指している点です。入院早期より医療と福祉が連携して入院の長期化を防ぎ、入院者本人が退院へ向けて参画する仕組みを創出しています。国の平成16年9月「精神保健福祉施策の改革ビジョン」で挙げられた「入院医療中心から地域生活中心へ」という基本的方策からの流れを継ぎ、社会的入院の解消とともに、新たな長期入院を生まないための取り組みを強化する内容となっているのです。

当院においても、部署を横断した多職種で構成される「医療保護入院者退院支援委員会」が立ち上げられました。また設置義務となった「退院後生活環境相談員」は、入院時よりご本人やご家族とともに退院へ向けた相談を進め、退院後の生活のために環境の調整を行います。様々な手続きの変更や新しい仕組みが整えられる中、制度や運

用がご本人やご家族のためのもになり、それらの実践がご本人の地域生活の支えとなることが理想とされます。今後、それぞれの現場で、ご本人と関わっていく職員一人ひとりが新しい指針を理解し携わっていく必要があるでしょう。

精神保健福祉士 二宮 美和)



6月10日に『はらの日』が開催されました。『はらの日』とは、城西医療財団の職員の永年勤続者を表彰する催しであり、毎年6月に各事業所で開かれます。永年勤続者は、5年間勤続した6年目の職員に『5年表彰』、10年間勤続した11年目の職員に『10年表彰』というように5年毎に区切られて表彰されます。

今年度は豊科病院と老人保健施設安曇野メディア合わせて、24名の職員が表彰されました。

心の癒し (23)

作業療法部 矢口 美貴

長野県出身の私は海を見ると気分が上がります。日本海も太平洋も好きです。もちろん海外の海も私の心をわくわくさせてくれます。その中でも専門学生時代に行ったサイパンの海は

とても綺麗で今までの中で一番の海です。「バルトブルーの海」に感動しっぱなし！また行きたいなと思つてます。

私は泳ぐこともしますが眺めたりする方が好きで、どこまでも広がっている海は心を癒してくれます。最近では新潟県の上越の海へ行きました。さすがに6月の初めに行ったので入ることはしませんでした。B B Qとビーチバレーを楽しみました。



この時期の日本海は波が少なく穏やかでのんびりとした時間を過ごせました。

同じ海でも色やにおいや波がぜんぜん違い、それが魅力だと思います。皆さんも是非、行ってみてください。私は今年中に沖縄へ行ってみようと思つてます(笑)

五味渚病院長のつづき

新コーナー



ワールドカップ・・・日本はまだ実力がなかつたねえ。

ボランチとサイドバックは良い選手が育っているけど、身長185cm以上の身体堅固なセンターバックが2人は必要だね。それから本物のストライカーを1人と、ドリブラーを1〜2人養成すればベスト8に入れると思つよ。

あと、私は病院にこき使われ過ぎてくるよ・・・。

管理栄養士の

簡単レシピ

No.14

簡単☆おいしい♪

白身魚の味噌ピーナッツかけ

ピーナッツの脂質はほとんど不飽和脂肪酸(オレイン酸、リノール酸)であるため、コレステロールを減らすことに効果を発揮します。その他にも、抗酸化作用のあるビタミンEや整腸作用を示す食物繊維オリゴ糖を豊富に含まれているため、ピーナッツは身体に優しい食品と言えます。味噌、ピーナッツのタレはとても簡単に作ることができ、肉料理や和え物にも活躍させることができます。お好みのお料理に応用してみてください♪

作り方は裏面に!!

エネルギー	177kcal
たんぱく質	13g
脂質	8.2g
塩分	0.9g

★白身魚の味噌ピーナツがけ

材料(2人分)

白身魚……………2切
片栗粉……………適量
揚げ油……………適量

タシ { 味噌……………10g
みりん……………大さじ1
砂糖……………小さじ2
水……………小さじ2
ピーナツ粉……………少々(4g)

【作り方】

①白身魚に片栗粉をまぶし、揚げる。(魚に下味をつける必要はありません)

②タシの材料を小鍋に入れ、とろみがつくまで火を通す。

③白身魚にかけたら出来上がり！



外来 医師担当表

平成26年 7月 1日現在

曜日	月	火	水	木	金	土
精神科	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしぎと よしあき 西里 吉昭 医師	ごみぶち みつり 五味洵 満徳 医師	ごみぶち みつり 五味洵 満徳 医師 又は なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみぶち みつり 五味洵 満徳 医師
内科	ごとう のりひこ 後藤 憲彦 医師	休 診	休 診	まるの たかし 丸野 崇史 医師	やまぐち しんじ 山口 伸二 医師	休 診

◎ 受付時間 午前 8:00～午前 12:00

◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで

※ 午後は全科**休診**となります。

※ 日曜・祝日は全科**休診**となります。

※ご不明な点等は、受付へご確認下さい。
お問い合わせ先 電話 0263-72-8400



～・ 編集後記 ～

豊科病院広報誌「雪がた」第32号をお届けしました。お読みになっていかがでしたでしょうか？

先日、初夏の上高地を散策してきました。Tシャツ1枚で歩けるほど暖かく、日差しも暑いくらいでしたが、ところどころにまだ雪が残っていました。こんな時期に雪を見ると、つい触ってみたくなるのは子供だけではないようで、行き交う人が触れては雪の感触を楽しんでいました。そして、個人的な楽しみはもう一つ……。徳沢園のソフトクリームと、嘉門次小屋のイワナの塩焼き。上高地に行く機会がありましたら是非お試しあれ(^~^)..

※表題「雪がた」について

春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。

(表題の写真は当院屋上から撮影しました。)